



令和4年度
食品ロス削減
推進表彰

募集期間 2022 6/28(火) ~ 2022 8/26(金)

暮らしの中で実践できる食品ロス削減の取組を始めたきっかけはなんでしたか？
皆さんがやってみようと思う、人に勧めてみようと思う、
そんな「食品ロス削減」の活動を募集しています。
地方公共団体、企業、団体、学生など様々な方からの応募をお待ちしています。

About

食品ロス削減推進表彰とは？

食品ロスの削減に効果的かつ波及効果が期待できる優良な取組を行った方を表彰する制度です。これにより、食品ロス削減を広く国民運動として展開していくことを目的としています。応募いただいた内容は食品ロスの削減に関する有識者などで構成する「食品ロス削減推進表彰審査委員会」において、選考基準に基づき審査します。

Entry

応募方法

専用の推薦書様式を下記の二次元コードまたはURLよりダウンロードし、必要事項を記入の上、添付書類を添えて、下記メールアドレスへご送付ください。メール受信をもって応募とさせていただきます。

【応募メールアドレス】 hairi-recycle@env.go.jp

■ 専用の推薦書様式はこちらから
送付する際は、ダウンロードしたワード形式にて
お願いいたします。

https://www.env.go.jp/recycle/food/commendation_R4.html



令和3年度の受賞者

環境省 食品ロス削減環境大臣表彰

詳細はこちら



株式会社セブン&アイ・フードシステムズ、 ロイヤルホールディングス株式会社

競合関係にあるファミリーレストランの連携によるmottECO普及活動。両者が同一の容器を使用することで、高い発信力を持って食べ残しの持ち帰りを推進。



株式会社ダイエー、神戸市、株式会社サカイ引越センター

提供食品の回収拠点とフードバンク団体を効率的に結び付けた取組であり、引越業者が回収拠点を巡回することで、フードドライブ活動で活用可能な食品量を増加。



社会福祉法人正和会

介護施設での食事提供に際し、急速凍結を活用し必要量を再加熱し提供。凍結した食事は6ヵ月間保存可能であり、適切な量・メニュー、急な入院などによる増減にも対応可能。



消費者庁 食品ロス削減推進大賞

詳細はこちら



株式会社日本アクセス

受発注の改善やフードバンク団体等への提供などサプライチェーン全体を通じた食品ロス削減に取り組み、1年間あたり300トン近くの食品ロスを削減。



一般社団法人 食品ロス・リボンセンター

役割を終えた災害備蓄食品の有効活用やリサイクル構築、こども食堂などに提供できるか飼料化するか選別作業において障がい者雇用を創出。



鎌倉市立 小坂小学校4年4組

児童自らが食品ロス削減のためポスターを作成し、校内で呼びかけなどを行うことで、学校全体の給食の残量を1年間で1日平均15キロから200グラムまで削減。更に食品ロス削減の呼びかけを駅前など地域において実施。



成田 賢一氏

食料困窮活動家として、余剰農産物の無料提供、フードバンク活動、海外のフードバンク活動などのノウハウの国内への普及、国内におけるコミュニティフリッジを実現。



表彰

環境大臣賞	1点
内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全)賞	1点
環境事務次官賞	2点以内
消費者庁長官賞	2点以内
食品ロス削減推進表彰審査委員会委員長賞	4点以内

令和4年度食品ロス削減推進表彰審査委員会委員

浅利 美鈴 京都大学大学院地球環境学堂 准教授
石川 雅紀 叡啓大学ソーシャルシステムデザイン学部 特任教授
小林 富雄 日本女子大学家政学部 教授

馬場 裕之 お笑いトリオ ロバート
増田 悦子 公益社団法人全国消費生活相談員協会 理事長
山川 肇 京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授

(五十音順、敬称略)